

井戸端ばなし・

梅が咲き始めましたが、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。去年は日本の宇宙開発の話題がいろいろありました。去年6月に帰還した小惑星探査機「はやぶさ」が小惑星「イトカワ」から持ち帰ったカプセル内部で確認された微粒子は、人類が月より遠い天体の地表着陸して地表物質の回収し帰還に成功したのは世界で初めてだそうです。その一方で、金星探査機「あかつき」は金星を通り越してしまい「さようなら〜」6年後に再挑戦する様です。今年も、からから天気が続きましたが、ここへ来てようやく雪や雨が降りました。春はもうそこまできていますよ！今年も花粉の飛散量が多いそうですが大丈夫ですか？もうすぐ待望のお花見のシーズンがやってきます。

雄大な富士、その頂

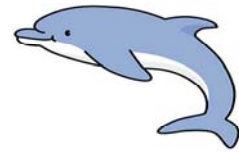


撮影—保坂

絶対なる存在感でそびえ立つ富士。何度見ても飽きる事なく、見る度に感激したり、思わずため息が出てしまったり……。その日の富士の表情であり、自分自身のその日の気持ちでいつも同じとは言えないのですが、それでも毎回感動を覚えさせてくれる、そんな不思議とも言える存在。美しく雄壮で気品さえ感じさせられる富士山。私が好きなお勧めポイント—吉田から717号を忍野に向かって、「鳥居地トンネル」を抜けると右手に現れるさえぎるもののない富士山。忍野村在住の方もお勧めの二十曲峠から見る富士山など、山梨に住む人間として、間違いなく誇れる存在です。

(この写真は撮影者の自宅(甲斐市)の二階から撮ったもの…と知ってビックリの私(小林)です)。

水の話



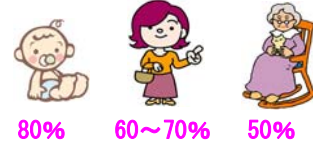
◎ 軟水と硬水

日本のご飯が美味しいのは、決してお米が良いからだけではありません。水の存在がとても大きいのです。日本の水は軟水が多く、この軟水がお米を美味しく炊かしてくれるのです。海外では、比較的硬水が多く、炒めたり、スープで炊く事が多いのは、硬水に含まれるカルシウムやマグネシウムが、タンパク質を硬くし、お米をまずくしてしまうためだとの事。日本人が大好きな、いわゆる「白いご飯」を食べられるのは、実はとても幸せな事だったと改めて思いました。お米だけでなく、かつお節や昆布のだしを使い、あっさりとした味付けした日本料理…、健康の面からも注目されていますが、やはり水が大きく貢献している様です。



◎ 水補給は若さを保つ秘訣

人間の身体は、成人で体重の60～70%が水分でできていると言われていています。赤ちゃんは80%以上、ところが、老人になると50%位に減ってしまいます。つまり、年をとるにつれて水分は失われて行くという事です。体内の水分は、細胞に含まれる細胞内水分と、血液やリンパ液などの細胞外水分に分けられますが、年と共に減るのは細胞内水分の方、細胞外水分は変わりません。したがって、しわを防ぎ若さを保つには、常に体内の水分が不足しないよう補給する事とても大切な事なのだそうです。(もちろん健康の為に・・・)



80%

60～70%

50%

◎ 人は1日にどの位の水が必要でしょうか

私達が1日に汗や尿として、体外に出している水の量は、約3リットル。つまり人間が生きて行くためには、1日3リットルの水が必要だという事です。こうした事から水道局などでは、災害に備えてこの一人1日3リットルを目安に水の確保を奨励しています。災害時には、応急給水活動が軌道に乗るまで3日間かかると考え、一人あたり3リットル×3日で、9リットルの水の備えが必要になります。つまり、×家族の人数分だけ家庭には必要という事になります。いざという時後悔しない為に、

常備しましょう (家族人数×9リットル)

~~~~~春のお祭り紹介~~~~~

甲州市えんざん桃源郷 雛飾りと桃の花まつり 2月11日～4月18日 (9:00～16:30)

旧高野家住宅「甘草屋敷」一塩山上於曾1651 TEL0553-33-5910 入館料大人¥300、小人¥200
江戸、明治、大正、昭和、それぞれの時代の「ひな人形」と吊し飾りなどが展示されています。

「甘草屋敷」と呼ばれるこの建物は、昭和28年に山梨県の民家としては、初めて国の重要文化財に指定された切妻造民家で、重厚で優雅な姿は日本の心・・・を感じさせてくれます。

期間中には花の時期も到来しますので、周辺の桜や桃などのお花見も兼ねて出掛けてみるのも良いかもしれません。



3月の終わりから4月にかけての桜の季節、今年の冬は特に寒さが身にしみたせいか、まだまだの様な気がしていましたが、考えてみればもうすぐそこまで来ているんですね。大法師公園、北杜の山高神代桜、小瀬公園など、過去に紹介してきましたが、他にも今は桜に彩られた公園や遊歩道などが年々増えて、桜が好きな人にとってはとてもうれしい環境になって来ました。



神代桜
さくらまつり
3/27～4/18



大法師公園
さくらまつり
3/13～4/6



小瀬公園
さくらまつり
3月下旬～

山梨の公共温泉ご紹介（その6）

山梨の公共温泉、今回で6回目のご紹介になりますが、少しは参考になりましたでしょうか？

次回からは、山梨にあるダムを取り上げてみたいと思います。今ダムは、開発する事への賛否が問われていますが、既存のダムはそれぞれの役割を担って、地域に親しまれながら存在しています。難しい事は解りませんが、その景観は見る側に見れば落ち着く静かな場所になっていて、散策する方も大勢いらっしやいます。そんな意味での簡単なお紹介をさせて頂くつもりです。

明野ふるさと太陽館

北杜市明野町浅尾5259-950 0551-25-2601 休業日-火曜日（祝祭日の場合その翌日）10:00~20:00

利用料 一般¥700、北杜市民¥300、市内別荘所有者¥450（いずれも大人料金）

宿泊施設（和室、洋室共）一泊2食付き¥8,500、素泊まり¥5,000

日照時間日本一という太陽の恵みを活用し、太陽光発電を備えた温泉活用養生施設。夏はあのひまわり畑に囲まれ、目の前には「ハイジの村」があり、お花の好きな方には絶好の場所にあります。和室休養室やレストラン、売店、温泉スタンドなどがあります。

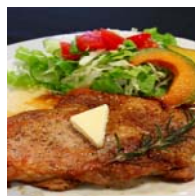


シルクふれんどりい

中央市大鳥居1619-1 TEL055-269-2280

定休日-水曜日（祝日の場合その翌日）10:00~18:00 大人¥400、小人¥300

町外からでも、町内に在住の方と同一の料金になりました。泉質は高アルカリ性 硫酸泉。施設の中で、紬織り、シルクフラワー、陶芸などの研修体験ができます。食事は地域の素材を生かした手作りメニューで人気の食工房「味の与一」で。宿泊施設もありますので、いろいろな体験をしながら、ゆっくり過ごすのも良いですね。郷土資料館や「シルクの里公園」も隣接しています。



金星を通り過ぎてしまった探査機「あかつき」と一緒に、去年5月に打ち上げられ金星の方向へ向かった宇宙帆船「イカロス」は、世界で初めてのソーラーセイルによる航行や薄膜太陽電池での発電を実証した。ソーラーセイルとは太陽の光を帆に受けて、光の圧力でヨットのように航行する。「イカロス」は一辺14mもある超軽量の帆に太陽光を受け、光の圧力で加速する。ロケット推進剤を使わず、太陽光で推進するので、原理的には太陽の光が届く限り加速し続けることができるという。光の圧力は微弱で、発生する加速度も小さい。しかし何年も加速し続ければ、ロケットエンジンでは到底実現できない速度に到達することも可能だそうだ。光圧による推力は想定どおりの1.12mN（※ミリニュートン）で、実証機として史上最大の加速度の達成となった。※「N」（ニュートン）は、1kgの質量を持つ物体に1m毎秒毎秒の加速度を生じさせる力を表す（探査機の推進力を表す）単位だそうだが。1.12mNは、地球上で0.114gの物体にかかる重力にほぼ等しいとのこと、太陽光圧による加速6か月間の累積光圧加速量は100m/秒に成ったそうです、帆の面積を増やせば加速量が増すらしいです、凄いことらしいですが何が何だか不思議な話ですよ。私たちも地上で太陽光圧を100m四方で約5グラム受けているそうですよ。年をとると月日が経つのが早く感じるのは太陽光によって私たちが加速し続けているせいですかね？この頃足がもつれるのは加速に対応できなくなっている？いやいやそれは加速ではなく加齢では無いですかね、年齢も加速していく慣性恐るべし・・・？

よくニュースや新聞などで火山性微動が続いていますとか伝えられていますが、通常の地震は、既存の断層が動くことや、新たに断層が生じることが原因で起こりますが。火山活動に伴う地震を火山性地震と呼び、これは断層と関係が無いものが多く、火山性地震は、マグマの移動や熱せられた水蒸気の圧力によって、岩盤、つまり地下の深いところにある硬い岩が破壊、その震動が地震となって観測されるものです。一般的な地震と違うのは、長時間連続する群発地震になりやすいことです。火山性微動は、マグマが動くことなどで起こる微弱な振動です。マグマが地下の浅いところまで上昇したことを示す場合が多く、噴火活動につながる可能性もあるので、火山性地震より重要視されています。今話題の霧島新燃岳ですが2年ほど前から小噴火などがあったみたいですが、火山性地震や火山性微動観測されていて噴火の兆候をとらえていたようです。今回の噴火で火口にあった火口湖も、溶岩ドームで消滅してしまったようです。甲府盆地内に住んでいると、周りを山が取り囲んでいますが噴煙や水蒸気があがっている山も見えません。近くでは浅間山や箱根がありますが、あまり噴火に対して実感がありませんね。震度5以上の大きな地震もここ66年間観測されていませんし、平穏な日々が続いていますが、災害を忘れた頃にやってくると言います。油断大敵！いつまた富士山が噴火するも知れませんが、想定東海地震はいつ起きても不思議でない時期になっています。

災害に備え避難場所の確認・家族の連絡方法等話し合っておき、最低3日分の水と食料は各家庭で用意しておきましょう。緊急地震速報等が出たら安全な所へ避難、地震が治ったら周りの人に一言かけて安否確認して下さい。巨大地震の後には大きな余震も考えられます、余震で倒壊する物等がありますので十分注意して安全な場所へ避難して下さい。

井戸端ばなし・・・バックナンバーは <http://sakusenyamanashi.sakusen.co.jp/>
ホームページアドレス上記に変わりましたのでよろしく



地質調査・さく井工事・水中ポンプ設置点検

株式会社 **サクセン山梨**

本社：〒400-0056 山梨県甲府市堀之内町818-2 TEL.(055)242-0415 FAX.(055)241-6615
機材センター：〒400-0078 山梨県笛吹市一宮町中1180

E-Mail sakusenyamanashi@sakusen.co.jp

